

校長室だより(No.28)

令和3年11月12日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

見える学力と見えない学力(1)

5月末に小学校6年生と中学校3年生に対して全国学力・学習状況調査が実施されました。全国規模での調査ですので、コロナ禍での学力の状況が明らかになってきました。

この学力調査などでは、測定できる能力(学力)が調査されています。これは「認知能力」と整理されています。これとは別に目に見えない(測定しづらい)能力は「非認知能力」「非認知スキル」と呼ばれています。昨今、各機関がこの能力に注目し、提唱ははじめました。しかし、現在統一的に整理されたものは存在していません。

平成29年度「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(国立大学法人お茶の水女子大学)では、子どもたちの学力について「非認知スキル」に着目して分析がされました。分析にあたった研究者からは、「非認知スキル」があるから学力が高いのか、学力が高いから「非認知スキル」があるのかは定かではない(おそらく相互に影響しあっているのではないか)が、ものごとを最後までやり遂げる姿勢や、異なる考えをもつ他者とコミュニケーションする能力は子どもたちのレジリエンスと関連している。」と言っています。

この研究では、「非認知スキル」は、8つの項目で調査されています。

- ①ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ②難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ③自分には、よいところがあると思う。
- ④友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。
- ⑤友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- ⑥友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる。
- ⑦自分とは異なる意見を生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い意見をまとめている。
- ⑧学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

5月の学校朝会で、黒井小学校の子どもたちに、上記の8つ項目を4つに絞りこれから1年間頑張ることをお話ししました。

- ㊦ひとの考えをよく聞き、自分の考えを発表できる。④⑤⑥⑦と関連…人間関係形成力
- ①初めてのことや苦手な事にすすんで挑戦できる。②と関連…自己管理能力
- ㊧自主学習を続ける。授業に最後まで集中して取り組める。①と関連…課題対応能力
- ④当番活動や係活動、掃除などみんなのために仕事ができる。⑧と関連…社会性・公共心

今後、6年生に実施しました学力調査とあわせて、「非認知スキル」についても分析していきたいと考えていますが、①の自己管理能力や㊧の課題対応能力は、従来型の能力(見える学力)と大きく関連していると考えられます。黒井小学校の子どもたちには、まず「人とつながることの大切さ」㊦の人間関係形成力についてその大切さを話しました。

※今回から3回シリーズで「見える学力と見えない学力」について掲載いたします。これは、学校だよりの裏面に掲載したものと同内容です。学力調査結果の公表に先立って説明しています。